

ブラッシュアップ観察会

～県営 春日山公園（大津市堅田）～

日時 2022年6月1日（水）
集合 堅田駅西口9時
天候 晴れ
参加者 講師担当3名 会員4名

講師派遣として6月8日に行われる予定の、京都府教職員互助組合退職互助部自然観察会の下見に合わせて実施しました。

個人的には2020年3月の友の会（第178回）観察会で、初めて訪れた場所で、スマレやショウジョウバカマの解説を興味深く聞いたのを覚えています。

また、翌年（2021年）5月に有志の集いで再訪し、キンランを初めて見ました。この日も探しましたが、花は終わっていたようです。同じ場所に出向いても色々変化があり勉強になります。

この公園は、春日山古墳群も含め、堅田丘陵の湿地や里山など、自然を残しながら整備されていて、植生豊かな所です。しかしながら、周辺は宅地開発が進みつつあり、今後どのように変化していくのでしょうか。公園駐車場から入口付近には、ドッグランも整備されていました。自然に親しむ良い場所ではありますが、人工的に整備しすぎないようにと、ひそかに願っています。

本番の観察会は午前中だけのようで、下見もシンボルゾーン～万葉ゾーンと、短く回りました。

歩き始めの藪にはサワヒヨドリが見られ、“元々湿地だった場所とわかるよ”と、教えていただきました。そうなんです、日ごろから、名前を覚えるだけでなく、どんな場所なのか把握しておくことも、自然を理解するためには重要です。

ノダケというせり科の植物も初めてで、名前から竹かと思いきや、確かに葉っぱの切れ込みもセリに似ていて、茎がぶっとく、少し芳香もあり、印象に残りました。節があつてまっすぐ伸びる姿が、竹に似ているところから付けられた名前かもしれません。花期は秋で、カレーのような芳香があるそうです。根がごぼうのようで、漢方薬として解熱などの効能があるとのことでした。

場所を覚えた訳だし、秋頃咲くから、行って調べてみようと思えば、また一つ視野が広がり、実際に行って場数を踏めば、自然観察も更に有意義なものになるでしょう。



ノダケ



丘陵の林道を歩いていると、足元に、ご飯粒みたいな白いものが沢山落ちていて、なんとそれは、ネジキの花々でした。ガマズミには、今はまだ緑色の、実ができ始めていました。

藪の奥に、たった1本のササユリ発見！いいもの見つけ。強くはないけど、良い香りでした。野生のササユリは種から花が咲くようになるまで、7年以上かかるのです。

この時期には、あそこにはあれが咲いていて、とか、あれが鳴いていて、とか、見た事がない虫や動物を見つけたとか、先輩方はそれらの情報量が凄いわけで、勉強になります。

ブラッシュアップ！頑張ろうっと。 (榎)



ヒメコウゾ



コジキイチゴ



ササユリ



ヤブニッケイ



ミヤマガマズミ